

掲載日：2017年11月26日

丹沢ボラネット瓦版 2009年2月号 No.64

ボラネット総会のお知らせ

2009年度総会は4月5日、下記の通り開催いたしますので、会員団体皆様のご出席をお願いいたします。

当日は新しいボランティア活動の拠点としての機能も兼ね備えた「保全センター新本館」の紹介を行いますので、春の日曜日ですが、ぜひご予定ください。

日時： 4月5日（日曜日）13時から16時

場所： 自然環境保全センター内（厚木市七沢）

プログラム

- ・ 通常総会
 - (1)2008年度活動報告
 - (2)2008年度決算報告
 - (3)2009年度活動計画(案)
 - (4)2009年度予算(案)
 - (5)世話人会世話人・監事改選
- ・ 報告会
 - (1)丹沢の緑を育む集い「ボランティア団体活動助成事業」報告
 - (2)丹沢再生のための民間団体との協働事業について

ワークショップ報告

森林管理・シカ管理ワークショップ報告



標記ワークショップが丹沢大山自然再生委員会事業計画評価専門部会・県自然環境保全センターの共催で、1月24日(土曜日)県自治総合研究センターで開催されました。

80人余の方の参加を得て、9時30分から17時まで、熱心な議論がなされました。最終的には再生委員会に答申がなされる予定で、公開されると思います。

ボラネットからは奥津・岩岡（けものみちネットワーク）、他に平野（北丹沢山岳センター）が参加いたしました。

ワークショップは、基調報告が「森林管理とシカ 追加総合解析の結果（鈴木透）」として総合調査以降の新しい知見が、「シカ・林床植生・森林管理（山根正伸）」はシカと森林の共存モデル試案を提案されましたが、主は4分科会の討議結論とその発表でした。最終答申はコーディネータに一任。

なお、この日のコーディネータ（羽山伸一）から研究者間で議論したシカ問題の連関図として説明されました。さらに修正が加わるとは思いますが、総合調査以降の新たな知見を含めたもので、問題がかなり明確になってきているように思われました。

ワークショップでは4つの分科会にわかれ議論されましたが、ボラネットは第3分科会（注1）に参加し、民間分野から何ができるのかを主に議論しました。

【注1】分科会は、1:行政（木平）、2:行政・森林（富村）、3:民間（羽澄）、4:研究者（羽山）の4分科会。

最終的な提言はこの最終答申を待つとして、この分科会では以下のような課題が挙げられました。

1)シカ管理のゴールとプロセスをはっきりと、2)情報提供の改善、3)県民参加の調査の実行、4)地域住民との連携、5)県と市町村との連携、6)再生の為に実行予算増(環境水源税からの補填)、等

特に、県民に対し「なぜ今丹沢再生が必要なのか」、その説明は不足している、丹沢の現実を理解させるために、いろいろな活動を行っていくことの必要性が何人もから述べられました。ボラネットとしても市民に向けての活動の充実やその仕組み作りをすべきだと感じました。できれば、2009年度の活動に組み入れることを提案したいと考えています。(奥津記)

連絡事項

自然環境保全センターホームページからボラネット瓦版を公開します

ボラネット瓦版を自然環境保全センターのホームページに掲載することになり、2009年1月号から試行、4月号からは正規に公開することになりました。なお、個人情報保護の観点から、個人情報に係わる事項などの掲載には注意することとしました。

アドレスは http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/05/1644/tanzawa/volunteer/v-net_pre.html#kawaraban

保全センター新本館へボラネットのパネルを展示します

保全センター新本館へ常設ならびに企画展示のためのパネルを作成します。

常設展示用は、縦横60センチメートルのパネルで、団体名称・連絡先などを掲示。事務局で原案を作成します。

企画展示用は、A1判で2枚、各団体の簡単な紹介と活動の写真を入れる構成を考えています。原案を作成した段階で会員団体に校正を依頼する予定でありますので、ご協力ください。

プレ全国植樹祭へもボラネットのパネルを展示します

平成22年春季に本県で開催する第61回全国植樹祭に先立ち、多くの県民の皆様が開催目的等を知っていただき、開催に向けての機運を高めていくとともに、森林がもたらしてくれる恵みや森林再生の必要性を発信していくため、開催の概ね1年前にあたる平成21年5月に、プレ全国植樹祭を秦野市と南足柄市の2会場で開催します。

このうち、秦野市会場において保全センター新本館で展示されるものと同じ内容をパネルで展示する予定です。

記念植樹等の募集も行うようですので、参加を希望される方はホームページをご覧ください。

開催日 平成21年5月24日(日曜日)

会場 県立秦野戸川公園

ボラネット活動報告書のスケジュール

今年度活動報告書は、原稿締切3月末日、刊行を6月1日の予定で、とりまとめを進めます。会員団体にはあらためて執筆依頼等のお願いをいたしますのでご協力ください。

ボラネット世話人会

次回：第5回世話人会

期日： 3月3日(火曜日)

会場： 海老名市民活動サポートセンター 18時30分から20時

議題： 2009年度事業計画について、その他

なお、新年度の事業計画についてご希望・ご意見を事務局まで頂ければ幸いです。

事務局から

西丹沢自然教室、リニューアルオープン

登山と自然情報発信、エコツーリズムの拠点を目指して展示・内装の改修を進めていた西丹沢自然教室は、3月20日(金曜日・祝日)にリニューアルオープンいたします。

山小屋のような、カフェのようなビジターセンター。登山者とスタッフ、地元の方も、丹沢の話に花が咲く施設を目指しています。ぜひお立ち寄りください。

自然環境保全センター公開講座「溪流環境モニタリングと情報整備」を開催します

丹沢大山自然再生の県の実行機関である自然環境保全センターでは、このたび、溪流環境の再生をテーマとして、外部講師を招いて、事業やモニタリングの実施と情報活用の観点から講義をいただく公開勉強会を開催します。

主に県庁職員等の関係者を対象としているため、やや専門的な内容も含まれますが、森林や自然環境に関心のある方ならご理解いただける内容となっております。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成21年3月12日（木曜日）14時から16時30分（開場13時30分）

場所：神奈川中小企業センタービル 13階 第2会議室（横浜市中区尾上町5-80）
JR線・市営地下鉄線 関内駅 徒歩5分



参加費：無料

申込方法：神奈川県ホームページの自然環境保全センターあての問い合わせフォームまたは下記FAXで受け付けます。

氏名と所属名または団体名（個人の場合は住所）を明記の上、自然環境保全センター公開講座参加希望と書いてお申し込みください。

また、当日会場へ直接お越しいただいても席に余裕のある限り受け付けます。

プログラム予定

- 14時00分 開会
- 14時10分 【講演】「溪流環境モニタリングと情報整備」 講師：北海道大学大学院農学研究院 中村太士 教授
- 15時50分 【情報提供】「丹沢再生のための情報整備」 報告者：自然環境保全センター研究部 技師 笹川裕史
- 16時30分 閉会

問い合わせ先

自然環境保全センター研究部 内山

研究部代表TEL (046) 248-0321 研究部FAX (046) 247-7545

問い合わせフォームURL <http://www.pref.kanagawa.jp/sosiki/kannou/1644/index.html>

お問合せ・連絡先（協働編集事務局）

神奈川県自然環境保全センター 自然保護課 大木伸一

〒243-0121 厚木市七沢657 電話：046 - 248-6682 ファックス：046-248-0737

問い合わせフォームURL：<http://www.pref.kanagawa.jp/sosiki/kannou/1644/index.html>

丹沢ボラネット瓦版2月号

2009年2月20日発行

丹沢大山ボランティアネットワーク（世話人代表 奥津昌哉）

神奈川県

のページの所管所属は [自然環境保全センター](#) です。